

# JAPS ニュース 第17号

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報  
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-7 MARUZEN ビル1F (有)東京カラー工芸社内  
TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp http://www.japs.jp/

## 10周年作品集を終えて

会長 小川泰祐

例年になく猛暑の続いたこの夏、ようやく朝夕には秋を感じる季節となりました。

日本建築写真家協会設立10周年を期して刊行した作品集「日本・風土と建築」は、多数の会員より追加注文が相次ぎ、在庫部数も残り僅かとなりました。この企画に対しては関係各方面より、批判、賛美などさまざまな言葉を頂きました。この言葉ひとつひとつを真摯に受け止め、新たな決意を胸に当協会の発展につなげたく思います。

先日、(株)ニコンより、当協会の正会員以外の会員システムに関する問い合わせがありました。日本建築写真家協会会員に対し、アマチュアとは一線引き、機材のプロ用サービスの充実を図りたいとの意向によるものです。そこで、先日の役員会に於いて、今まで当協会に協力して頂いた各社を「協力会員」として、他の各社に働きか

ける事としました。

また、これは日本建築家協会、建築家倶楽部活性化委員会の私案の段階ですが、家協会が日常的に活用している建築家倶楽部(家協会ビル1F)における写真展開催、トークショー等の提案を頂きました。これも家協会と打合せを行い前向きに検討して行きたいと思います。

設立15周年の企画を検討する時期になりました。日本写真家協会の益々の発展に向け、会員の諸氏の提案、そしてご協力を切に願うばかりです。

このところ、新入会員の入会数が極端に減少しています。より多くの建築写真家の入会を望むところです。これにも会員の一層の協力をお願い致します。

会員の情報、ご意見など役員会にお寄せください。この厳しい時代の日本建築写真家教会の活動の糧にしたく思います。宜しくお願い致します。

## 日本建築写真家協会展 応募要項

### 「光と空間」－ 建築の美 － Part 10

(表示をアラビア数字に変更)

今回で10回目となる日本建築写真家協会の写真展日程の概略連絡が入りました。参加ご希望の方はノミネートをしていただきます。多くの皆様の出展をお待ちしております。

●タイトル 「光と空間」－ 建築の美 － Part 10

●出展料 (案) 30,000円

●最終出展数 60点(1人1点、組写真不可)

●会場・会期 富士フィルムフォトサロン

東京展(スペース1)

2013年6月7日(金)～6月13日(木)

(大阪、福岡の日程は未定)

上記会場以外で開催を希望される方は、事務局へご連絡下さい。

●応募のながれ

①出展希望者は、まず事務局にファックスでノミネート  
2012年12月21日(金) 締め切り

②作品の送付

2013年2月28日(木) 事務局必着

カラー、B/Wとも「8×10プリント」

(複数応募可)

●タイトル (無題はご遠慮ください)

◎作者名 ◎作品タイトル ◎建築名 ◎所在地

◎キャプション(20字以内、不要の方は結構です)

## 第9回 日本建築写真家協会 総会・懇親会 報告

日時：2012年6月22日（金）18:00～20:00  
場所：JAL CITY 四谷（東京）  
出席者：61名（会員39名、ゲスト19名、事務局3名）

記：小野 吉彦  
写真：津布久 智



### ●総会（司会 三輪晃士 会員）

#### ◎会長挨拶（小川泰祐 会長）

JAPS10周年記念写真集がようやく出来上がり、お手元に届いていることと思います。昨年に続き各メーカーのブースがありますので最新の情報を得て、懇親会の最後まで楽しんでください。

#### ◎事業報告（篠沢 裕 会員）

##### 2011年度報告（書面にて了承を受ける）

・UIA（世界建築家会議東京大会）に併せて開催予定写真展に応募者全員の作品を掲載し「日本建築写真家協会創立10周年記念写真集」として刊行し、全会員および各方面に配布した。発行：日本建築写真家協会・編集：鹿島出版会・A4変形・定価1,800円（税別）

##### 2012年度計画（書面にて了承を受ける）

・隔年開催の写真展「光と空間」建築の美 PART10 作品募集、2013年に富士フィルムフォトサロン東京・大阪・福岡で開催予定。

#### ◎会計報告（三輪晃士 会員）

・資料をもとに報告。

#### ◎報告（堀内広治 副会長）

・会員名簿、会員証は2013年に発行予定。  
次回より会員証に有効期限を入れる。  
・新入会の川村剛弘会員を紹介。

川村剛弘 新入会員



#### ・世話人紹介

代表：高井 潔、会長：小川泰祐、副会長：堀内広治  
総務：篠沢 裕・木寺安彦・山崎望輝・丸山 泰  
事業：平井広行・山田新治郎・西出貴文・海老原一己  
会計：三輪晃士・上岡弘和  
広報：小野吉彦・渡辺重任・津布久智  
地区世話人：仙台/横山博志、名古屋/車田 保  
大阪/川元 斉、福岡/山本伸生

#### ・10周年報告（10周年記念作品集）

#### ◎ホームページ（渡辺重仁 会員）

・10周年写真集からそのエピソードを順次執筆依頼するので協力をお願いします。

#### ◎ニュース（小野吉彦 会員）

・17号18号の発行予定と会員だよりの積極的な執筆を呼びかける。

#### ◎挨拶（堀内広治 副会長）

★以上の報告及び提案は、全員の賛同を得て了承された。





●懇親会

- ◎挨拶 高井 潔 代表
- ◎挨拶 富士フィルムプロ事業部 島田知明氏・勝原潤氏・須長千江美氏、  
加賀電子コダック事業部 太田和信氏・加々美剛氏、  
キャノンマーケティングジャパン 西田勇氏・本村忠之氏、  
ニコン フェロー後藤研究室室長 後藤哲朗氏、  
開発 岩崎宏之氏・森吉蔵氏、  
マーケティング 松嶋茂夫氏・中村良夫氏、  
ニコンイメージングジャパン 関口宏氏・相馬昌則氏
- ◎紹介 写真協会 上田裕一氏、鹿島出版会 川尻大介氏、  
フレームマン 奈須田一志氏、堀内カラー 石橋泰弘氏、  
蒲田恵三氏
- ◎乾杯 キヤノン 西田 勇氏
- ◎閉会挨拶 小川泰祐 会長

上：ゲストの方々  
下：乾杯と各メーカーのブース



出席者 (敬称略)

荒牧万佐行、飯嶋祐司、板山一三、内木政治、海老原一己、大野 繁、大橋富夫、小川泰祐、奥村浩司(代理)、小野吉彦、勝田尚哉、楠木宏司、上岡弘和、川村剛弘、川上 明、工藤政志、車田 保、小菅典明、篠澤 裕、高井 潔、多田英毅、田中 豊、津布久智、中塚雅晴、名川明宏、西出貴文、野口 毅、林 広明、藤塚光政、堀内広治、宮崎文雄、三輪晃士、村岡章年、山崎望輝、山田新治郎、吉村行雄、米倉栄治、米田正彦、渡辺重任

富士フィルム(島田知明、勝原 潤、須長千江美)、加賀ハイテック(太田和信、加々美剛)、  
キャノンマーケティングジャパン(西田 勇、本村忠之)、ニコン(後藤哲朗、岩崎宏之、松嶋茂夫、中村良夫、森吉蔵)、  
ニコンイメージングジャパン(関口 宏、相馬昌則)、日本写真協会(上田裕一) フレームマン(奈須田一志)、  
堀内カラー(石橋泰弘)、鹿島出版会(川尻大介)、蒲田恵三、東京カラー工芸社/事務局 (水谷一郎、小野ヨシ子、榛葉知子)

# 会員だより (117~122)

## ～ 会員の皆さんからの近況報告 ～

### 関根 義規 (東京都豊島区)

117

この夏の記録的な猛暑も未だ衰えず、地球環境の激変、領土問題、景気は相変わらず、こんな社会情勢、経済状況の中で泳いでいるのか、流されているのか？

建築写真においては、「何これ・・・。とんでもない値引き、データ無償提出」そんな他社の見積を目にすることがありますが、安ければ良い時代はいつまで続くのでしょうか。しかも写真家は、PCのオペではありません。

ここ何年かは地方ロケもめっきり減り、アウトドア派の私には、PCに向かう時間は、なんとも「忍」であります。それでも自分のものには愛着があるもので、photoshopする毎日です。

小川会長が何度も提言されておりますが、「良質を高値」・「権利の主張」を心がけて行きたいものです。

### 坂内 一夫 (神奈川県川崎市) 60年

118

昭和27年、初めてカメラを持って60年。昭和39年、写真クラブ「プレザントクラブ」に入会し、暗室を造り、先輩に教わりながらフィルム現像引伸ばしを覚え、約15年間いろんなコンテストに応募してたなあ、なんて思い出しています。

竣工写真を始めたのは、昭和52年。建設会社の下請の会社をやっていたので、すぐ仕事はもらえたのですが、初めて使う4×5ちょっと戸惑いました。ビューカメラの使い方とか、高井先生の建築写真の世界も読ませて頂きました。

竣工写真を写す時、心掛けているのは基礎から始まって、躯体、外装、内装と、

いろいろな職人さん達が汗を流したことを思いながら、女性のエクボはかわいいけど(笑)建物のエクボはかわいくないので気をつけました。(今では簡単に修正出来ますけど)

8月で80才になりましたので、退会させて頂きたいと思います。協会には何のお役にもたず申し訳ありません。東京カラー工芸社様には長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。



写真:昭和の1カット(昭和40年1月撮影)

### 堀内 広治 (東京都中央区)

119

先日、写真展の開催に合わせてラジオ番組に出演した。最初依頼された時はあまり乗り気ではなかったが、ルーマニアの写真展の紹介を軸に3年近く通った現地の話やら、以前に取り組んでいたロマネスク様式の修道院の撮影時の思い出話等、面白そうなので引き受けてしまった。

デレクターとアナウンサーとの簡単な下打ち合わせの後本番に入るが、今までの下打ち合わせが何だったのかと思わせるような唐突な質問が始まったのにはいささか面喰ってしまった。大きな声では言えないが、大学で学生という名のお子様たちと日々付き合っていると唐突な質問への切り替えにはいささか自信?はあったが、そつなくこなせたように感じられた。

しかし感心したのはアナウンサーが又その上を行く切り返しで迫ってくるプロ意識には敬意すら覚えた。又「本番いきます」と声が掛かった途端のアナウンサー女史の突如と切り替わる声の歯切れの良さにもプロとしての一面を見させてもらった。30分の出演中に2回私のリクエストの曲をかけてくれるが、事前に言っていたにもかかわらず、アナウンサー女史との世代間があり、その曲が流行っていた当時の時代風景の話にまで脱線してしまったのも生放送の面白さかも。

私たちの撮影もそうだが、何事も予想のしていない展開になった時の対応の大事さを再考させられた体験であった。

### 木谷 基一 (千葉県浦安市)

120

この写真は私のfacebookのプロフィールに使っています。サラリーマンの父が写した1枚で写真の裏には2才4ヵ月と。40歳を過ぎた頃、実家のアルバムの中で見つけました。facebookはあの震災後から利用しています。通信手段がマヒする中でfacebookなどのSNSが安否確認に有効だと聞いたからです。最初は使い方がわからず、あちこちをクリックしては機能を確かめていましたがようやく使い慣れ毎日チェックするのが最近の楽しみです。写真や近況をUPして絵日記のようにしているのですが意外な反応があって面白いです。久しぶりに会った友人達とUPした話題ですぐに盛り上がります。



facebookを始めて驚いたことはもうほとんど会うことはないと思っていた旧友から突然、友達リクエストが来ることです。20年来、30年来音信不通になっていた方達と旧交を暖めています。当協会の会員になって5年ですが一部の会員方以外はお目にかかる機会がありません。よろしかったら「JAPS 会員」と記したメッセージと共に友達リクエストをお送り下さい。時間や地域を越えて交流出来るフェスブックは楽しいですよ。どうぞよろしくお願ひします。

撮影:木谷勝暁

名川 明宏（東京都品川区）百人一首

121

今年のお正月に遊んだ坊主めくりをきっかけに6歳の娘と百人一首の暗唱を始めました。今では78番まで暗唱することができるようになりました。正直51番の「かくとだに えやはいぶきの さしも草 さしも知らじな もゆる思ひを」までは私の方が早く覚えられたのですが52番の「明けぬれば くるものとは 知りながら なほ恨めしき 朝ぼらけかな」からは娘の方が覚えるのが速くなりました。最近では、娘のペースについて行くことができず覚えてもすぐに忘れてしまう私に

「また覚えれば大丈夫だよ。」と娘がやさしく声をかけてくれるようになり娘の成長を身に沁みて実感しています。

子育てをしていると今まで自分が多くの人に支えられ助けられてきたことに気付かされます。撮影助手時代に師匠は「一生懸命やっていたら必ず誰かが見ている。そうでないとみんなが見ている。」とよく口にしていました。師匠がこの言葉を私に刷り込んでくれたおかげで今でも建築写真を続けられています。本当に感謝しています。

村岡 章年（大阪府大阪市）奈良東大寺金鐘ホールにて

122

所属する「座かんさい」建築美術工芸同人で9月1日に東大寺セミナーを主催しました。北河原公敬東大寺別当の講話、会員の建築家他によるシンポジウム他盛りだくさんでした。見学会や遊びも含め行動しているテーマの、木の文化研究会の一環でした。

一昨年の解体修理前の薬師寺東塔前や、昨年の工事中の興福寺中金堂内でのセミナーからつながるものです。

池田淳吉野歴史資料館館長が、吉野が飛鳥時代より神仙境と

崇められ、後吉野川の水利により杉や檜等林業が栄え、地域文化が自然環境と共に育まれた事、金子啓明興福寺国宝館館長が、仏像の用材観について、日本最古の法隆寺救世観音以来、他国のほとんどの像が石か金属なのに比べ、もろい木彫像が多く世界でも類を見ない文化と話され、寺社や住まいと共に山郷の持つ自然環境そのものが木の文化であり、我が国固有の木の仏像信仰もまた多様な木の文化を形成する物であると感ずることが出来ました。

●日本建築写真家協会 世話人会報告 (66~70) ●

代表：高井 潔

会長：小川泰祐

副会長：堀内広治

総務：篠沢 裕・木寺安彦・山崎望輝・丸山 泰

事業：平井広行・山田新治郎・西出貴文・海老原一己

会 計：三輪晃士・上岡弘和

広 報：小野吉彦・渡辺重任・津布久智

仙 台：横山博志

名古屋：車田 保

大 阪：川元 斉

福 岡：山本伸生

●第66回 2012/04/13 カルフル貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一己、大橋富夫、小野吉彦、上岡弘和、川村剛弘、篠澤 裕、高井 潔、中塚雅晴、西出貴文、堀内広治、三輪晃士、山崎望輝、渡辺重任

○10周年写真集、レイアウト中塚会員の案をもとに鹿島出版会でデザインする。目次の文字確認をする。

○高井代表より日本写真協会の会員申し込み案内を JAPS 会員へ送付することの申し出があった。

●第67回 2012/05/18 カルフル貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、小室貴義、篠澤 裕、高井 潔、中塚雅晴、西出貴文、堀内広治、丸山 泰、山崎望輝

○10周年記念写真集、表紙を決定。封筒をつくる。各1冊をメール便で送付する。6/13書店配本予定。贈呈先を決定する。

○総会の式次第検討。ニコンはデモ機2台持参するのでキャノンへも依頼する。鹿島出版会・川尻氏を招待する。新入会員を紹介する。出欠返事のない会員へ電話をする。10周年写真集をゲストに配布する。2冊目以降を会場で販売する。

●第68回 2012/06/15 カルフル貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一己、大橋富夫、小野吉彦、上岡弘和、高井 潔、津布久智、堀内広治、丸山 泰、三輪晃士、山田新治郎、渡辺重任

○10周年写真集、写真展時に出席しない意志の会員2人から本に出展したいと連絡があった。

○総会について、出席予定者が20名のところ電話連絡で40名となる。鹿島出版会・川尻氏を招待する。メーカーブースを4テーブル準備する。挨拶は4社。記念写真はキャノンカメラで津布久会員撮影。当日世話人は15時集合。新入会員・川村会員紹介。10周年写真集を40冊準備する。

○2013年富士フォト写真展の検討開始。

○名簿、会員証の隔年発行の検討、確認。

●第69回 2012/07/13 カルフル貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、大橋富夫、海老原一己、小野吉彦、篠澤 裕、上岡弘和、高井 潔、西出貴文、堀内広治、山崎望輝、

○10周年写真集、140冊売れる。中塚会員へ編集費として10万円支払う。

○総会、会員出席40名予定。会費8,000円を下げるか検討。

○今後の総会出席者をどう増やすか。総会集合写真プリントを出席会員に配る(案)。地方会員との交流会、総会を分ける(案)。建築写真検定(案)。

○富士フォト2013年光と空間パート10をJAPSニュース17号で告知する。

○関西会員を年3回程度、一部費用負担し東京での世話人会時に呼ぶ。大阪では年1回会合がある。

○2016年の15周年記念企画(案)一人一枚で今までの富士フォト展から「私の一枚」としてまとめてみる。

●第70回 2012/09/14 カルフル貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、中塚雅晴、平井広行、三輪晃士、山田新治郎、渡辺重任

○ニコンよりJAPS会員にプロサービス等をする申し出があり、ニコンをJAPS協力会員として検討する。

○法政大学55/58年撮影イベントでの協力を求める依頼があったが、JAPSとしては参加しない。

○ニュース17号へ「総会記事」、「2013年富士フォト写真展応募要項」を載せる。

○「検定」について、上岡、山崎会員に調べてもらったが、「建築写真検定」は実用性がなしと判断。

○2013年3月の富士フォト8×10検討時に大阪会員を呼ぶ。

○会費未納者について3年は待つが、ニュース等は発送しない。

○総会に非会員へも参加を呼び掛ける(案)。

○富士フォト写真展をフレームなしのマット作品制作で出展料を下げる(案)。

# 掲示板

最新情報、  
詳細情報は  
ホームページを  
ご確認ください。



①



②



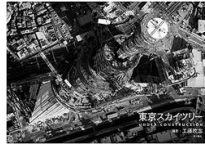
③



④



⑤



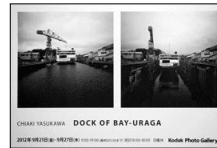
⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

- 大野 繁** 写真展① **「Beyaz Anadolu」 時が刻み・人が穿ち・雪が舞う 大野繁 写真展**  
2012年10月9日～21日（月曜休廊）原宿表参道アルスギャラリー（東京都渋谷区）
- 小野 吉彦** 出版② **「死ぬまでに見たい洋館の最高傑作」** 監修：田中禎彦 写真：小野吉彦  
エクスマレッジ刊 2012年10月1日発行 1,600円＋税
- 上岡 弘和** 写真展③ **「日本の屋根付橋」上岡弘和 写真展** 2012年8月10日～16日  
富士フィルムフォトサロン東京 スペース1（東京都港区）（終了）
- 川村 剛弘** 写真展④ **「青域」川村剛弘 写真展** 2012年5月1日～31日  
伊豆高原アートフェスティバル 会場No.52 モミ座リゾート（静岡県伊東市）（終了）
- 川村 剛弘** 写真展⑤ **「Communion」川村剛弘 写真展** 2012年10月16日～26日（日曜休館）  
ホワイトギャラリー（東京都港区）
- 工藤 政志** 出版⑥ **「東京スカイツリー UNDER CONSTRUCTION」** 撮影 工藤政志  
角川書店刊 2012年4月26日発行 税込 2,310円
- 小室 貴義** 写真展⑦ **「JPS7 2012 my life 2」グループ展** 2012年9月6日～12日  
アイデムフォトギャラリー シリウス（東京都新宿区）（終了）
- 平野 和司** 写真展⑧ **「巴里スケッチフォト」平野和司 写真展**  
2012年7月10日～22日 壺燈舎（大阪市中央区）（終了）
- 安川 千秋** 写真展⑨ **「DOCK OF BAY-URAGA」安川千秋 写真展** 2012年9月21日～27日  
コダックフォトサロン（東京都中央区）（終了）
- 野口 毅** 写真展⑩ **「lighthouse IV」野口毅 写真展** 2012年12月20日～25日  
早稲田スコットホールギャラリー（東京都新宿区）
- J A P S** 出版⑪ **「日本 風土と建築」日本建築写真家協会 創立10周年写真集**  
鹿島出版会刊 2012年6月10日発行 1,800円＋税

## 連絡先等変更

住所・連絡先等変更がありましたら、必ず事務局にご連絡ください。

芥子富吉  
宮武孝成

佐藤周哉  
多田英毅

富田 治  
藤原 弘

金崎ただとし

(メール変更)

(社名変更)

幻冬舎ルネッサンス編集局からのお知らせ

「永遠に残す、鮮やかに発信する」写真集の自費出版。編集、販売・広告を高品質のパッケージでご提案します。

TEL : 03-5411-7188 <http://www.gentosha-r.com/>

事務局 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail [japs@tcklab.co.jp](mailto:japs@tcklab.co.jp)